

補本公示第13-2号
30.3.14

契約希望業者募集要項の変更

(公募実施権者)

分任支出負担行為担当官

海上自衛隊補給本部管理部長

高 梨 洋 之

補本公示第13号(29.3.7)及び補本公示第13-1号(29.6.5)で公示した、平成29年度～平成31年度不用弾薬の処分役務の契約希望業者募集要項について、下記のとおり変更します。

記

1 調達品目等

別表に、次に示す品目等を追加する。

別表

平成29年度～平成31年度 不用弾薬の処分役務 対象品目

番号	品名	火薬類 取締法	秘の 有無
32	ガイダンスセット R I M-7 F	○	有
36	R I M-7 F用弾頭部	○	有
56	爆発性ボルト、ハーブーンミサイル用	○	
57	点火薬、固体推薬	○	
58	15号指向性爆破薬	○	
59	水中発音弾信管	○	
60	潜水艦用信号弾	○	
61	信号発煙照明筒、マリンマーカ	○	
62	フレア、スクイブ	○	
63	86式信管	○	有
64	もやい索投射機用薬包、救命索投射機用薬包・索投射ロケット	○	
65	カートリッジアクチュエータ（改）	○	
66	91式 カートリッジスタータ	○	
67	S T I N G E R用バッテリー	○	
68	S M-2用ロケットモーター	○	
69	R I M-7 M/Mpip 用誘導部	○	有

補本公示第13-1号
29.6.5

契約希望業者募集要項の変更

(公募実施権者)

分任支出負担行為担当官

海上自衛隊補給本部管理部長

高梨洋之

補本公示第13号(29.3.7)で公示した、平成29年度～平成31年度不用弾薬の処分役務の契約希望業者募集要項について、下記のとおり変更します。

記

1 調達品目等

別表に、次に示す1品目を追加する。

番号	品名	火薬類 取締法	秘の 有無
55	37.5cm対潜ロケット弾用(演習弾)	○	

平成29年度～平成31年度不用弾薬の処分役務の契約希望業者募集要
項

(公募実施権者)

分任支出負担行為担当官

海上自衛隊補給本部管理部長

高 梨 洋 之

平成29年度～平成31年度不用弾薬の処分役務の契約について公募を実施する
ので、参加希望者は、下記に基づき資料等を提出してください。

記

1 調達品目等

平成29年度～平成31年度 不用弾薬の処分役務

なお、対象品目は別表のとおり。

2 公募に応募できる者の資格

応募できる者は、次に掲げる事項の全てに該当する者とする。

(1) 予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)(以下「予決令」という。)

第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な
同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 分任支出負担行為担当官又は防衛省としての指名停止等の処置を受けている
期間中の者でないこと。

(4) 経営の状況又は信用度が極度に悪化していないと認められる者であり、適正
な契約の履行が確保される者

(5) 平成28年度、29年度、30年度競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の
提供等」の競争参加資格を有している者又は経営の規模及び経営の状況がそれ
と同等である者

(6) 処分に必要な技術及び設備を有する者

- (7) 別表中、「秘の有無」の欄に指定がなされている品目については、秘密に属する物件等を保管できる設備を有しており、秘密保全上支障のないことを確認した者を、秘密を取り扱う関係者として充てることができる者
- (8) 別表中、「火薬類取締法」の欄に指定がなされている品目については、同法に基づく許可を受けているか、契約時に当該許可を確実に受けられる見込みのある者

3 参加表明

応募する者は、別紙様式に示す「参加表明書」及び第1号又は第2号に掲げる資料並びに次項に掲げる設備及び体制等を証明する資料（以下「技術資料」という。）を提出しなければならない。ただし、前年度に同一の資料を提出した者で、本年度においても変更がない場合は、その旨の書面を提出することで資料の提出を省略することができる。

なお、複数年度の調達に係る合格の結果通知を受けた者は、対象期間内の各年度開始前までに、提出済みの技術資料の変更の有無について明記した書面及び変更部分に係る技術資料を提出しなければならない。

- (1) 資格審査結果通知書（写し）
- (2) 第2項第5号の競争参加資格を有していないものは、会社の財政状況・経営成績を証する書類（直近の決算期における有価証券報告書、監査報告書並びに会計監査人設置会社にあつては、会計監査報告書及び内部統制システム整備状況の概要）

4 技術資料の提出

次に示す項目について、提出するものとする。

ただし、前年度以降に同一の資料を提出したもので、本年度の資料に変更がない又は部分的な変更のみである場合は、変更がない旨の書面又は変更となった部分を明記した書面及び変更部分に係る技術資料を提出することでア、イに示す資料の提出を省略することができる。また、他の公募実施権者が実施した同種の公募手続における技術審査に合格している場合は、当該合格通知の写し及び合格時の技術資料と変更がない旨の書面をもって代えることができる。

ア 過去5年間における最新の同種契約実績（実績がない場合は省略可）

イ 第2項第6号から第8号に規定する技術、設備、許可等を有することを証明できる資料

ウ 処分計画書（工程表、処分方法）

5 参加表明書及び技術資料の提出先等

(1) 提出先

海上自衛隊補給本部管理部契約課審査係

〒114-8565

東京都北区十条台一丁目5-70

03-3908-5121 (内線5665、5666)

(2) 提出期間

平成29年3月7日(火)～平成29年5月12日(金)

なお、上記の期間にかかわらず、新たに体制、設備が整った場合は応募することができる。

ただし、希望する調達品目の調達に間に合わないことがある。

(3) 提出方法

直接持参又は郵送とし、直接持参する場合は、土、日及び祝日を除く毎日、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、正午から午後1時までの時間を除く。

(4) 提出部数

参加表明書、技術資料共各2部(第3項に定める会社の財政状況・経営成績を証する書類は1部)

6 技術資料の審査等

技術資料の提出者は、海上自衛隊補給本部の担当者から提出資料について説明を求められた場合には、協力しなければならない。また、追加資料等の提出を求められた場合には、正当な理由がある場合を除き、必要な資料等を提出しなければならない。

7 審査結果の通知等

公募実施権者は、資格審査結果及び技術審査結果を応募者に対し通知する。

8 疑義の申立

(1) 審査結果に疑義のある者は、公募実施権者に対して、当該疑義の内容について、審査結果の通知を受理した日の翌日から起算して5日(土、日及び祝日を除く。)以内に書面をもって申し立てることができる。

ア 窓 口

第5項第1号に同じ。

イ 時 間

直接持参する場合は土、日及び祝日を除く毎日、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、正午から午後1時までの時間を除く。

- (2) 公募実施権者は、疑義について説明を求められた場合は、疑義の申立の書面を受理した日の翌日から起算して5日（土、日及び祝日を除く。）以内に、説明を求めた者に対して書面により回答する。
- (3) 疑義の再申立については、書面による回答を受理した日から3日（土、日及び祝日を除く。）以内に書面をもって申し立てることができ、公募実施権者は、疑義の再申立の書面を受理した日の翌日から3日（土、日及び祝日を除く。）以内に、説明を求めた者に対して書面により回答する。

9 応募に当たっての留意事項

- (1) 応募者は、応募に当たり次の各号について同意した上で応募するものとする。
 - ア 提出資料に虚偽の記載をした者の応募は無効とする。
 - イ 正当な理由がなく資料を提出しなかった者、業態調査に協力しなかった又は妨害した者の応募は無効とする。
 - ウ 審査後、資料に虚偽の記載が判明した場合、他の調達要求に係る公募又は入札等を停止することができる。
 - エ 資料等の作成、提出及び説明会への参加並びに業態調査への協力に要する費用は、応募者の負担とする。
 - オ 提出資料は、原則として返却しないものとする。
 - カ 提出書類は、他の目的に使用しない。
 - キ 提出資料に、受注の可否に影響のある変更が生じた場合は、速やかに報告すること。
 - ク 当該調達品目については、公示時点で調達を予定しているものであり、今後必ず調達があることを保証するものではない。
- (2) 資料等の提出に当たっては、製本等、過剰な編てつは不要とする。
- (3) 調達品目の仕様に関する問合せを、補給本部管理部契約課審査係に行うことができる。

添付書類：1 別紙様式「参加表明書（記入例）」

2 別表

別紙様式

〇〇. 〇〇. 〇〇

(記入例)

海上自衛隊補給本部管理部長 殿

〇〇〇〇〇〇(株)

代表取締役社長 〇〇 〇〇

参 加 表 明 書

平成29年度～平成31年度不用弾薬の処分役務（補本公示第13号（29. 3. 7））について、下記のとおり応募します。

記

番号	品名	火薬類 取締法	秘の 有無
1	71式（K-5）機雷（火薬なし）		有

添付書類：1 資格審査結果通知書
2 技術資料一式

別 表

平成29年度～平成31年度 不用弾薬の処分役務 対象品目

番号	品 名	火薬類 取締法	秘の 有無
1	71式(K-5)機雷(火薬なし)		有
2	71式(K-5)機雷(火薬あり)	○	
3	71式(K-5)機雷 アーミング装置	○	有
4	SM-1用ロケットモータ	○	
5	SM-1ロケットモータ用イグナイター	○	
6	RIM-7F/M用ロケットモータ	○	
7	37.5cm対潜ロケット演習弾 表示薬(改1)	○	
8	37.5cm対潜ロケット弾用 近接信管	○	
9	37.5cm対潜ロケット弾用 時計信管	○	
10	37.5cm対潜ロケット弾用 発煙信管	○	
11	デストラクタ用弾体	○	
12	73式魚雷 本体		有
13	73式魚雷 実用頭部	○	
14	80式魚雷 本体		有
15	80式魚雷 実用頭部	○	
16	80式魚雷 訓練頭部		
17	80式魚雷 起爆器		
18	砲弾用信管	○	有
19	砲弾用信管	○	
20	砲弾(信管付)	○	

番号	品名	火薬類 取締法	秘の 有無
21	砲弾（信管なし）	○	
22	シースパロー JVC 爆発ボルト	○	
23	20mm以下の弾薬包	○	
24	チャフロケット弾	○	有
25	IRデコイ弾	○	
26	ハーブーン イニシエーター	○	
27	B. C. U（スティンガ誘導弾用）	○	
28	電気雷管及び水中雷管等	○	
29	標示弾及び発煙装置	○	
30	火工品	○	
31	ガイダンスセット AIM-7E	○	
32	ガイダンスセット RIM-7F	○	
33	RIM-7F/M/, 7F pip用誘導部	○	
34	RIM-7F/M用推進部	○	
35	RIM-7F/M用訓練頭部	○	
36	RIM-7F用弾頭部	○	
37	SM-1用弾頭部	○	
38	90式艦対艦誘導弾用 信管	○	
39	90式艦対艦誘導弾用 ブースタ	○	
40	90式艦対艦誘導弾用 カートリッジイグナイタ	○	
41	90式艦対艦誘導弾用 パワーカートリッジ	○	

番号	品名	火薬類 取締法	秘の 有無
4 2	9 1 式空対艦誘導弾用 カートリッジイグナイタ	○	
4 3	SM-1 用信管部	○	
4 4	SM-1 用雷管部	○	
4 5	SM-1 用訓練頭部	○	
4 6	SM-1 用自爆装置	○	
4 7	SM-1 用発火装置	○	
4 8	SM-1 用制御部	○	
4 9	SM-1 用操舵部	○	
5 0	アスロック用ロケットモーター	○	
5 1	アスロック用火工品	○	
5 2	魚雷用伝爆薬筒	○	
5 3	処分用爆雷 3 型	○	
5 4	処分用爆雷 4 型	○	